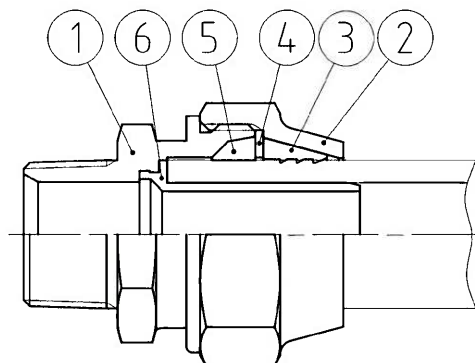


QHP 継手 施工手順書

この施工手順書はQHP継手をご使用頂くための施工手順書です。配管作業前によく読んで正しく施工してください。

構成

部番	部品名称	部番	部品名称
1	胴	4	座金
2	ナット	5	パッキン
3	リング	6	インコア



適用管種

- ・JIS K 6762「水道用ポリエチレン 1 種二層管 (PE50)」
- ・JP K 001「給水設備用ポリエチレン 1 種管 (PE100)」
- ・JP K 002「水道用ポリエチレン 1 種二層管 (PE100)」

施工前の注意点



注意

- ・施工前に継手を分解しないでください。
- ・PE管の接続部には傷の無い所を選んでください。PE管表面の傷は漏水の原因になります。
- ・PE管表面に付着した泥等は水洗い、またはウエスで拭き取ってください。
- ・PE管に巻癖が付いている場合、真直ぐになるよう矯正してください。

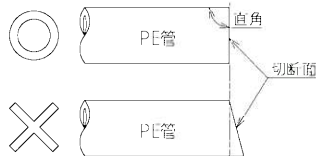
QHP 継手と他種管及び器具類との接合

- ・他種管及び器具類との接続はPE管にねじれが生じないように、接続順序を考慮して施工してください。
- 胴を回転して接続する種類の継手は胴と他種管及び器具類との接続を行ってからPE管の接続を行います。

施工手順

1. PE管は、パイプカッター等を使い、管軸に対して直角に切断してください。

※PE管切断面に発生したバリは取り除いてください。



2. 胴のねじが2～3山見えるまでナットを緩め、PE 管を継手の奥に当たるまで差し込んでください。

※ナットは外さず、管の挿入が出来ます。

※管の曲げ癖等で挿入し難い場合、継手又は管を強くこじりながら挿入してください。それでも挿入が難しい場合、部品の順番が変わらないように管を軽く差し込んでからナットを外し管に部品を通した後に、管を強く差し込んでください。

継手内部に異物が入らないように注意してください。



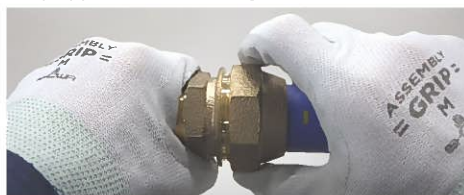
継手の奥に当たるまで管を差し込んでください

管が挿入し難い場合



管を軽く挿入してから、ナットを外し、管を強く差し込んでください。

3. ナットを手で仮締めしてください。



途中でパイプが抜けないよう注意してください。

4. レンチを使いナットと胴があたり、ナットが回らなくなるまでしっかり締め付けてください。

※締め付け不足は漏水の原因となります。



締め付け前



締め付け後

ナットが回らなくなるまで

注意事項

- ・一度使用した継手は再使用しないでください。
- ・誤って継手を分解してしまった場合、本施工手順書右上の図のように部品を取付けてください。
- ※パッキン、リングには正しい向きがあります。

〇お問合せ・ご用命は最寄りの営業所までご連絡ください。
本施工手順書は予告なく改訂する場合がございます。



前澤給装工業株式会社